

知道 CHIDO-KAIHO 会報

99

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
稲葉節生
発行人 令和3年10月1日
通巻 第99号
メール chidokai_mito@chidokai.jp
H P www.chidokai.jp

目次	硬式野球部の活躍	1
	会員の集い講演会『79/84の力』	4
	一高だより	5
	第46回代議員会	5

硬式野球部大躍進

全会員の悲願である甲子園出場にむけ大きく飛躍した大活躍をご報告致します。

◎春季大会45年ぶりのベスト4進出

つくば国際高・多賀高に勝利し準々決勝におきましては強豪の藤代高と対戦し2日間にわたる大激戦を制しました。初日は6回表途中まで3対1とリードしておきながら雷雨によりノーゲームとなっていましたでしたが、その勢いは再試合でも発揮され8回表まで5対1と劣勢でしたが、8回裏なんと猛打爆発し一挙7得点し8対5にて2日間に及ぶビッグゲームに勝利しました。まさに一球入魂の精神で白球を追いつけてきた部員達の賜物であります。そして準決勝では、秋季大会において敗れた常磐大学高との対戦となりました。9回表まで4対2にてリードしていましたが善戦空しく9回裏に3点をとられ、サヨナラ負けとなりました。あと一歩で決勝進出・45年ぶりの関東大会出場となるところでしたが、無念の敗戦となりました。

◎夏季大会40年ぶりのベスト8進出

春季大会での悔しさをバネに選手達は甲子園出場を目指し猛練習に励みました。

Bシードとなり初戦は麻生高と対戦し大苦戦しながらも11対7にて勝利しました。

3回戦では、中山監督(元水戸一高監督)率いる日立一高との師弟対決となり、手に汗握る名勝負でした。先制ホームランにて3点

春季大会ベスト4・夏季大会ベスト8進出



リードし追加点を入れ6回表まで4点リードしましたが、後半は完全に日立一高・中山マジックの采配に翻弄されダブルスチールを2回もかけられてしまうなど応援席も緊迫していましたが、最後まで全力を尽くし4対2にて勝利しました。

4回戦では、土浦三高と対戦し5対3にて勝利して40年ぶりのベスト8進出となりました。

準々決勝戦は秋季大会優勝校であるAシードの鹿島学園との対戦となり、8回を終了して5対0とリードされましたが、9回には伝統の粘りを発揮し2点を返したものの惜敗となりました。

67年ぶりの甲子園出場目前までできました。来年こそ甲子園にて『旭輝く』を歌えるように精進し

ますので皆様のご支援をよろしくお願い致します。

水府倶楽部(硬式野球部OB会)
副会長 黒木雅宏(昭58卒)

創部130周年記念試合

福島県立磐城高等学校をご招待して下記のとおり記念試合を行いますのでご観戦ください。

令和3年11月28日(日)

ノーブルホームスタジアム水戸
(水戸市民球場)

9:30開会式 10:30試合開始

石井連藏氏(昭和26年卒)野球殿堂入り記念碑を飛田穂洲先生像に隣接して建立します。野球部の伝統を後世に引き継いでまいりますのでどうぞ皆様よろしくお願い致します。(令和3年12月頃完成予定)

一高野球の虜になった理由

加藤弘士（平5卒）
（スポーツ報知デジタル野球デスク）



春季県大会準決勝・常磐大高戦
円陣で気合いをみなぎらせる一高ナイン



春季県大会準決勝・常磐大高戦
ピンチで間合いを取る一高ナイン

「言い訳は進歩の敵」

生前、番記者を務めていた野村克也さんの口癖である。

一高のナインは言い訳をしない。進学校だからしょうがない。

専用グラウンド、室内練習場がないから、しょうがない。

コロナ禍だからしょうがない。

そう嘆くヒマがあったら鍛錬あるのみだ。そして春には45年ぶり県4強、夏には40年ぶり県8強の快進撃を現実にした。

感染拡大防止のために茨城への帰省もままならぬGWと夏、難敵へと果敢にぶつかっていく彼らの奮闘に母校愛を激しく揺さぶられたOB・OGの皆さんも多いことだろう。確かに自分が書いた一高の記事のヤフコメ欄には「水戸一卒業生の母校愛は異常」という書き込みが見られた。私は筆者でありながら「そう思う」をクリックしたものだ。

平成15年卒のOB・木村優介監督は言う。

「周囲の応援は本当にうれしく思っています。俺たちが頑張ると、喜んでくれる人たちがいる。そのためにも勝とうぜって、選手には話しているんですよ」

我々の熱狂が少しでも選手たちのやる気につながれば、こんなに幸せなことではない。

その木村監督の右腕となるのが平成21年卒の高橋直樹ヘッドコーチだ。早大時代、2学年上の甲子園優勝投手・斎藤佑樹やドラフト1位6球団競合の大石達也が「フリー打撃で俺たちの球をめちゃくちゃ打つんです」と口をそろえていた安打製造機。4年次には副将として大学日本一に貢献し、秋には外野手のベストナインにも輝いた。ちなみに9票のうちの1票は私の投票である（開票作業もやった）。某パ球団のスカウトが「育成なら欲しい」と注目していたことも懐かしい。

木村監督や高橋ヘッドらに心技体を鍛えられた若武者たちが展開する野球は、実に面白く、エキサイティングだ。どんな強敵であろうとゲームセットの瞬間まで闘志全開で立ち向かう。劣勢にも、心が全く折れないのだ。

「一生懸命に勝る美しさはなし」

これも野村監督の言葉だが、ひたむきに白球を追う一高ナインを見るたびに明日への活力がみなぎり、一瞬、青春時代に戻ってしまう。

一高野球へと私が虜になった理由である。

最後に木村監督と高橋ヘッドにお願いします。甲子園出場はもちろんです。ぜひ一高からプロ入る選手を育成して下さい。プロ通算1,282安打を放ち、日本シリーズ1試合3盗塁の伝説を持つ西鉄の韋駄天・玉造陽二大先輩に続く男が生まれたら、全国の公立進学校球児に夢を与えられることだろう。

一高の選手にそんなの不可能？ いやいや。彼らは決して言い訳しないんだってば。

1面を空けて、その日を待っています。



夏の県大会3回戦・日立一戦でバントを試みる堺堀主将

多方面から硬式野球部を応援 どなたでも入会可能 硬式野球部後援会「三の丸倶楽部」新規会員募集



水府倶楽部（硬式野球部OB会）臙脂色帽子
三の丸倶楽部（硬式野球部後援会）白色帽子



令和3年茨城大会準々決勝応援スタンド

「三の丸倶楽部」は、知道会会員と現役硬式野球部父母会の有志により、硬式野球部への支援を目的に平成20年に設立されました。立ち上げに携わった事務局長の森利克さん（昭38卒）は、平成15年より、練習試合を含め、ほぼすべての試合を観戦し、「孫のような年代だからね」と、現役との交

流も深めています。森さんは「水戸一高の硬式野球部には、知道会はもちろん、一般の方のファンも多く、応援したいと思う人もたくさんいます」と一高野球の魅力を語ってくれました。

会員は、約210名、元会員を含めると370名を数え、現役の要望を聞きながら、これまで、水府倶楽部と共同で用具やパソコンの寄贈、遠征費補助およびコーチ謝礼などの支援を行ってきています。入会資格は特にありません（現役父母の会会員、水府倶楽部会員は除く）。会員になると、ホームページで試合予定と結果が閲覧でき、年2回、硬式野球部活動の細やかな情報を掲載した会報も発行されています。

今年の活躍で、会員は約30名増加しました。「ファンの力も結集し、高校野球本来の姿である、“文武両立”（両道ではない）を実証する支援の場としていきたい」と森さん。「伝統とは、新しい結

果を生み出せるしっかりとした基盤であると考えます。大先輩である飛田穂洲氏に続く、新しい功績を期待しています」

来年度から野球特色選抜入試が実施されます。一球入魂に続く新たなフレーズを生み出してもらいたい、と森さん。「部活動は人間力の形成と母校の発展に大きく関与するものであり、後輩への部活動支援の輪を広げていきましょう」



- 活動実績／
会報発行（年2回）、入会時に応援帽子配布、物資支援
- 年会費／
1口3,000円（何口でも可）
- 問い合わせ先／
事務局長
森利克（昭38卒）
FAX.0294-53-1351
ihm2158@ak.wakwak.com



「応援うちわ」を贈呈しました

知道会ではこのたび、附属中学を含む水戸一高生徒全員に「応援うちわ」を贈呈しました。

一昨年まで毎年6月に生徒に配布され野球の全校応援に使われてきた応援うちわ。今夏の大会での全校応援が禁止されたことで今年も応援うちわが作られないと伺い、球場のスタンドでボロボロになるまで打ち振りながら声を嗄らして応援した、卒業生にとって思い出の品のひとつでもあるこのうちわが2年にわたって作られないことを残念に思い、また、生徒の皆さんにたとえ現地に行けなくても、野球に限らずインターハイや各種大会、総文祭やコンクールに出場する仲間たちを皆で応援する気持ちを表すツールとして使っていただきながら、応援に



も流れる水戸一高の伝統を感じて貰いたいという趣旨で、知道会において製作、贈呈することにいたしました。

6月29日（火）放課後、校長室において稲葉会長から生徒を代表して生徒会長、応援団長のお2人にうちわが手渡されました。

生徒の皆さんへは、後日、学校で配布されました。

知道会会員の集い(代議員会・講演会)を開催します

令和3年「知道会会員の集い」は、昨年と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、代議員会と講演会のみで開催いたします。懇親会はありません。

講演は平成2年卒で現在劇団四季にてご活躍中の道口瑞之さんで

す。プロフィール・講演タイトルは下記にございます。

参加費は無料です。参加希望者は下記「Googleアンケート」から、または知道会事務局あてにFAX (029-226-4157)・メール(chidokai_mito@chidokai.jp)に直

接お申込み下さい。感染対策としての参加者把握のため、必ず事前にご連絡をお願い致します。

当日はYouTube上にてオンライン配信を致します。詳しくは知道会ホームページをご覧ください。

日時：令和3年11月13日(土) 12:15～

場所：水戸京成ホテル

日程：11:45～ 受付開始

12:15～ 代議員会

13:10～ 海外派遣プログラム報告(録画映像)

ーグローバルリーダープログラム参加生徒

卒業50周年挨拶(録画映像)ー昭45、昭46年卒

14:15～ 講演会(平2卒 道口瑞之氏)

※録画映像になる場合があります

15:20 幹事引継式、校歌演奏

15:30 終了

参加申込用Googleアンケートはこちら→<https://tinyurl.com/bt5yb3fz>



オンライン配信(YouTube)はこちら→<https://youtu.be/xWNG9YVusi8>



会員の集い講演会 『79/84の力』

～農家の長男のボクが、ミュージカルの舞台上でスポットライトを浴びるようになった訳～

■講演者プロフィール



道口瑞之(どうぐち みつゆき)

1971年生まれ。小美玉市出身。1990年水戸一高卒。1994年立教大学社会学部卒。1996年に劇団四季に入所。同年「エクウス」札幌公演にて初舞台を踏む。以降、「夢から覚めた夢」「ユタと不思議な仲間たち」「コーラスライン」「美女と野獣」などに出演。現在は「ライオンキング」(スカー役)、「アラジン」(ジーニー役)にて出演中。

■講演内容

私は、大学卒業後、24歳から劇団四季に所属し、以来、二十年以上に渡り、舞台俳優として年間200ステージを務めてきました。

水戸一高では演劇部には所属していたものの、高校を卒業するまで、ダンスや歌唱のレッスンを受けたことはありませんでした。しかし、そんな素人同然だった私が、エンターテインメントビジネスの世界で、舞台俳優として生き抜いてこられた原点は、水戸一で経験し、培ったものにありました。演劇の魅力とその力を実感し、確信できたのが、あの高校時代でした。

この講演で、演劇や劇団が社会に何が出来るとか、そしてどんな力を持っているのか。舞台芸術の

魅力を、可能な限りお伝えできればと思います。



このページでは、この夏、公式戦等で活躍したすべての部活動および個人の紹介をします。

水泳部 関東大会出場

2年振りに実施された関東大会（宇都宮市、7/20～22）は個人種目計4名が県予選を突破・出場を果たした。規模縮小により省かれた団体フリー及びメドレーリレーを含めれば男女部員11名全員で臨めた大会であったのが悔やまれる（男7・女4）。更なる上位大会には手が届かなかったものの、関東大会に出られなかった生徒を含め記録向上のため意欲的に取り組んできた一年であった。地道な努力が記録伸長からも分かる。大会開催状況は改善されつつあるが、これを当然とせず、成果発表の機会確保のため尽力される高体



水泳部全体写真

連専門部や関係者の思いを感じ取って自然に感謝し、自らを律し努力できる部活動の生徒となることを期待したい。

化学部 第45回全国高等学校総合文化祭出場



坂下さん

7月31日（土）から和歌山県で行われた全国総文祭自然科学部門研究発表化学部門に茨城県代表として、坂下拓

斗（34）が出場した。口頭発表では、全国での発表ということもあり、かなり緊張した様子が窺えたが、「多孔

質材料への吸着によるオゾンの保存」についてとてもリラックスして発表を行うことができた。上位入賞はなかったものの、他県他校生徒の発表を聞き、良い刺激を受けたのではないだろうか。

美術部 第45回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 出品参加

井上宙（32）、森朝陽（39）が、茨城県代表として、油絵作品をそれぞれ出品しました。昨年10月に水戸地区鑑別会にて、約230点の作品の中から上位



井上さんの作品



森さんの作品

2点が茨城県代表として選ばれました。12月から今回の展覧会に向けての制作を始め、今年のGWに完成した作品が、和歌山県立近代美術館に展示されました。7月31日、8

第46回代議員会報告

日時 令和3年5月15日（土）
場所 知道会館2F会議室（ZOOM併用）

- (1) 第70期事業中間報告
- (2) 第70期収支中間報告：承認
- (3) 名簿発行の件：次回（令和5年）の名簿発行の是非やあり方について名簿委員会で検討し、方針を定めることが報告された。

- (4) 会報発行の件：紙ベースでの発行を10月の1回のみとし、5月発行分についてはデジタル化（ホームページに掲載）すること、但し昭和39年以前卒の会員には引き続き年2回郵送する旨が報告され、承認された。
- (5) 会費等振込手数料の件：第71期から手数料を払込人負担とすること、コンビニ併用払いを導入し払込方法の選択肢を増やす

- ことが報告され、承認された。
- (6) 夜のピクニック観劇支援事業報告
募金総額は341名2,459,000円。観劇支援事業内容の報告と、残金を一般会計に繰り入れる旨提案があり、承認された。
その他、知道会による母校支援の対象に附属中学校を含めることについて承認された。

月1日に和歌山県民文化会館にておこなわれた開会イベント、交流会に参加し、また全国レベルの作品を鑑賞し、今後につながる大変貴重な経験となりました。

ESS（英語研究会部） 第10回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 出場

3月21日にオンラインで実施された第10回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯に、倉田やまと（31）、金澤亜美（31）、室岡美咲（33）の3名が参加しました。この大会は即興型英語ディベートの大会で、This house believes that the age of digital information (e.g. social media, online news, etc.) has done more harm than good in protecting democracy. 等の論題について議論しました。予選4試合を行い2勝2敗で、惜しくも決勝トーナメント進出は逃しましたが、生徒たちは全国の英語ディベーターたちと充実した時間を過ごすことができました。

棋道部（将棋） 第57回全国高等学校将棋選手権大会出場

7月31日（土）、8月1日（日）の両日、和歌山県那智勝浦町体育文

化会館で行われ、宇野友貴（38）が茨城県代表として男子個人の部に出場した。プロ棋士を目指すレベルの高校生も参加している中、4戦して2勝2敗と健闘したが、惜しくも予選通過（3勝以上）はならなかった。往復の列車内や宿泊先での時間も無駄にせず、将棋の研究と学業との両立を図る姿に水戸一高生らしさを感じた。

山岳部女子 令和3年度全国高等学校総合体育大会登山大会（福井インターハイ）出場

8月20日～23日に福井県勝山市において行われた令和3年度全国高等学校総合体育大会登山大会に、山岳部が女子団体部門で出場をした。コロナ禍における大会ということで今年の大会は登山行動

やその他の競技が制限される異例な開催となった。制限下でも競技は体力や歩行技術だけでなく、設営等も審査される。さらに、救急・気象・自然観察や地図読解の知識までも審

査対象である。2日間の山行と開会式後のペーパーテストによって100点満点で点数付けが行われ順位が決まる。出場選手はリーダー田島更紗（27）、川野真歩（25）、井上優香（25）、大森美沙子（15）の4名。大会は天候にも恵まれたが、気温はそれほど上がらず、練習通りの成果を出してくれた。結果は88.8点の第28位という結果に終わった。全員インターハイ初参加であることを考慮すると、まずまずの結果であろう。

今大会には2年生3名・1年生1名という構成で望んだ。来年の香川大会では、今年の経験を生かし上位進出が期待できそうである。



代表の4名

新体操個人 関東高等学校新体操大会出場

鈴木桜乃（14）が県大会で第4位となり、5月29日に山梨県で開催された令和3年度関東高等学校新体操大会に出場した。大会は新型コロナウイルス感染症対策のため無観客での実施であった。フープとリボンの2種目の演技をおこない、総合順位は1年生ながら県内出場選手6名のうちの最高順位であった。本人にとっては決して満足いく演技内容ではなかったが、大変貴重な経験を得ることができた大会であった。



対局中の宇野さん（左）

年会費の納入にコンビニエンスストアが利用できるようになりました

5 ページの第46回代議員会報告にあります通り、今期から年会費(2,000円)の払い込みに、皆様からご要望の多かったコンビニエンスストア払いを利用できるように致しました。

同封されております年会費払込用紙が郵便振替用とコンビニ払い用の2種類ありますので、どちらか一方をご使用ください。なお、今回から窓口支払手数料をご負担いただくことになりましたので、恐れ入りますが別途ご用意ください。(口座引き落としをご利用の方、ならびに第64期までの終身会費制度を利用された方には払込用紙は同封されておられません。)

年会費の納入には銀行振込も利用できます。振込先口座は下記の通りです。振込の際には同姓同名の方との混同を避けるため、必ずお名前の前に卒業年を(例:S56 チドウ タロウ)付けてお振込みください。知道会ホームページにも案内がございます。

年会費振込口座

- ①ゆうちょ銀行 ○三九店 当座 31751
口座名義 知道会(チドウカイ)
- ②常陽銀行 本店営業部 普通 3586238
口座名義 知道会 会長 稲葉節生
(チドウカイ カイチョウ イナバセツオ)

西日本水中一高会から 総合力を備えた専門家を育てるために ～成人教育サロン「井内サロン」による 人材育成の取り組み～

西日本水中一高会の活性化を当初の目的として始められた「井内サロン」が、現在の余りにも厳しい状況に接し日本の将来に不安を感じて社会に貢献できる人材育成を目的に生まれ変わったのが2020年初め。20名前後のメンバーが集い、SGDsに準じて5つの分科会を作って活動しつつ、ときおり他の視点を入れるために全メンバーで議論を深めあっています。

具体的には①医療情報収集方法の検証や寺院での難民受け入れ事業サポートをしている[医療・健康]チーム②経済白書の輪読などを通じて日本の財政状況確認からスタートした[経済]チーム③「教育を受ける側の視点」を「教育を提供する側」につなげる[法・教育]チーム④水俣病の学びを「環境汚染の歴史」としてとらえなおす[環境]チーム⑤そして社会の「基盤を支える」立場から「持続可能な発展」を考える[インフラ・エネルギー]チームです。

これらの活動に専門外の知見も踏まえて、定期的に全体で勉強会をすることで「総合力のある専門家」を育むようにしています。先日は「コロナ下の救急医療」について「特別市民公開講座」を開催して、市民に直接語りかける形式での社会貢献に取り組みました。

このように、社会貢献のスキルとしての専門性を高めつつ、自分の専門領域以外も謙虚に学び続けられる、「総合力」を備えた人材育成を目指しています。この「令和の松下村塾」をぜひ皆さんにも応援いただき、よろしければ一緒に学んでいきませんか？

益田(旧姓山口)充(平6卒) 井内サロン代表幹事・医師

書籍紹介

日本近現代建築の歴史 —明治維新から現代まで—



日埜直彦(平2卒) 著
講談社、2021年
2,250円(税別)

明治期から現代までおよそ150年にわたる日本の建築史が、コンパクトで的確にまとめ上げられている。膨大な情報量だが専門用語は少なくっており、一般読者にもハードルが低くなっている。語られる建築の背景では何かが考えられていたのかに焦点が当てられており、専門書とは違った見方がされていて興味深い。

知道会発足70周年

「知道会」は、1951年(昭和26年)11月23日に発足し、今年発足70周年を迎えます。当初は「水中会」として、その後「水中一高会」となり、1979年(昭和54年)に「知道会」と改称されました。会報誌は1953年(昭和28年)に「水中会報」として刊行。その後一度、廃刊を経て、1972年(昭和47年)に「水中一高会会報」第一号が刊行されました。現在の「知道会報」は、次号で100号となります。

知道会オリジナルグッズ

- ☆「母校を訪ねる」 一冊 500円
- ☆「オリジナルネクタイ」 赤・青・グレー
1本 3,000円
3本セット 8,000円

知道会館で販売中です。

ご希望の方は、事前に事務局までお電話のうえ、ご来館ください。

総務委員会

総務委員会は令和3年会員の集い企画、実施にあたり集い実行委員会を、7月から月1回の予定で状況を見ながら知道会館およびZoom対応にて開催しております。会員の集いについては、本年もコロナ禍の状況により懇親会を中止とし、講演会を中心としたものとなります。実行委員会のメンバーとなる幹事学年の方々にはご苦労をいただき、対策を講じながらより良い方法で楽しんでいただける講演会の企画を進めていただいております。会員の集いの講演など詳細につきましては本号の記事をご覧ください。また、随時知道会ホームページにて最新情報を掲載していきます。

少しでも早く世の中が以前の状態に戻り、多くの笑顔と笑い声であふれる懇親会が開催でき、たくさんの方の皆様の肩を組んで声高らかに校歌を歌える会員の集いが戻ってくる、そんな希望を糧とし、今できる最善のことを模索しながら今後も委員会活動を進めて参ります。

(総務委員長 齋藤 修 (平6卒))

財務委員会

知道会年会費で母校支援！

知道会の年会費は、本会の運営費のみならず母校支援にも使われております。皆様の年会費が後輩の学校生活の一助になる、素敵なことですね。母校支援のためお忘れなく年会費の払込みをお願い致します。

別途ご案内のとおり、年会費の払込みには従来の郵便振替、銀行振込、自動引落としに加えて、今回からコンビニ払いもご

利用頂けるようになりました。

自動引落としも引き続き絶賛受付中です。次年度からの自動振替をご希望の方は、今年度分の年会費払込みの際に払込用紙の通信欄に「自動振替希望」とご記入頂くか、お電話にて事務局にご一報下さい。

財務委員会では、払込み方法の多様化を含めて更なる利便性向上の検討を進めて参ります。

(財務委員長 出澤琢磨 (平1卒))

名簿委員会

会員の皆様には常日頃より名簿ご購入や広告の協賛をいただき感謝申し上げます。2018年に前回の会員名簿が発行され早3年が経過し、次回の発行につき検討開始する時期となりました。名簿発行については個人情報保護や名簿掲載情報の不正利用防止等の課題が前回出されております。また、ITCやSNSの目覚ましい発展等、この間の情報を巡る変化は著しいものがあります。この様な中で名簿のあり方及び発行の是非につきまして、来春の代議員会に諮るべく名簿委員会及び幹事会で検討中です。なお、卒業生の皆様の消息・住所などの確認及びデータの更新は名簿委員会の重要な任務の一つであり、この情報は必要時に会員相互の親睦や職域の情報交換等の一役を担う非常に貴重なものです。委員会としては細心の注意を払いながら事務局との協力の下に有用なデータ管理を継続していく所存です。会員の皆様には引き続きの御支援をよろしくお願い申し上げます。

(名簿委員長 加賀美理帆 (昭59卒))

物 故 者 (R 3. 4 ~ R 3. 8 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

旧職員 齊藤 重夫	昭25高 清水 順三	昭29高 田中 功	昭35高 大貫 潔
旧職員 清水 正美	昭25高 石崎 三夫	昭29高 中村 安伸	昭36高 戸崎 功
旧職員 野上 浩	昭25高 畔野 邦英	昭30高 伊沢平八郎	昭36高 加藤木切磋
昭10中 飯野 芳造	昭25高 須能 昌一	昭31高 青木雄次郎	昭37高 高橋 俊雄
昭16中 加藤木邦夫	昭26高 野村 祐吾	昭31高 山田多喜男	昭37高 和地 利久
昭16中 鈴木 康夫	昭26高 菊地 信雄	昭32高 坪 忠夫	昭38高 吉田 茂
昭17中 柏 敬武	昭26高 田澤 勇一	昭32高 倉田 哲也	昭38高 藤城 稔
昭17中 楊箬 一郎	昭26高 藤江 秀夫	昭33高 清水 正美	昭38高 大貫 誠之
昭19中 浅川 清	昭26高 小峰 亮一	昭33高 大畠 克仁	昭39高 小澤 静雄
昭20中④安藤 敏武	昭26高 小沼(坂田)豊満	昭33高 小河原邦夫	昭39通 稲川 忠男
昭20中④清水 清	昭27高 塙 茂	昭33高 大竹 靖章	昭42高 立花 一典
昭20中④山田 昭	昭27高 佐藤 秀文	昭34高 山崎 久男	昭44高 清水 正行
昭20中④吉野 二郎	昭27高 平野 肇	昭34高 角田 稔	昭45通 大野 勇吉
昭21中 竹尾 忠一	昭27高 木村 敏一	昭34高 久野 敬	昭47高 原田 恒
昭21中 横須賀徳義	昭28高 江坂 晴男	昭34高 飛田 弘	昭48通 大金 勇
昭23中 市毛 栄一	昭28高 小貫 康弘	昭34高 柳葉 政視	平元高 平野 正浩
昭23中 大津 明定	昭28高 根藤 毅	昭34高 桜井 邦夫	平3高 安蔵 正幸
昭23中 平野 充	昭29高 白井 朗	昭34高 沢幡 謙悦	平11高 平山 優子
昭24併 中村 和彦	昭29高 酒出 昌信	昭35高 網代 利夫	平11高 橋本 鉄平
昭24併 桧山 博昭	昭29高 萩谷彰一郎	昭35高 大内(佐藤)茂章	平21高 鈴木 梨加

ホームページから登録内容の変更手続きができます！

◎会員情報変更フォーム <https://chidokai.jp/desk/r-form/>

その他お問い合わせ chidoka_mito@chidokai.jp

事務局 月・水・金 (祝祭日を除く) 10:00~15:00

来局の際は、事前にご連絡をお願い致します。



学校基本データ

学校創立 1878年(明治11年) 10月2日

令和3年 創立143年

同窓会員数 39,061名

住所判明者数 21,800名

在籍生徒数 高校 926名(男子500名 女子426名)

中学 80名(男子 40名 女子 40名)

(令和3年8月現在)